

安達太良山の地殻変動*

Crustal Deformations around Adatarara Volcano

国土地理院

Geographical Survey Institute

第1図は、「だいち」PALSARによる安達太良山周辺の解析結果である。南行軌道(Descending)で2006年4月27日と2007年4月30日のペアを取った解析結果を上段に、2006年9月12日と2008年9月17日のペアを取った解析結果を下段に示した。上下段ともに、右側に沼ノ平火口付近の拡大図(左図の白線枠内)を示した。上段では安達太良山周辺にはノイズレベルを超える位相変化が見られないが、下段では沼ノ平火口を中心に、ノイズレベルを超える位相変化が見られる。変動量は、衛星から遠ざかる方向に最大約10cm程度である。

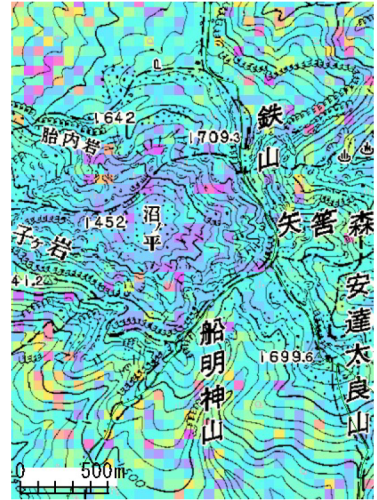
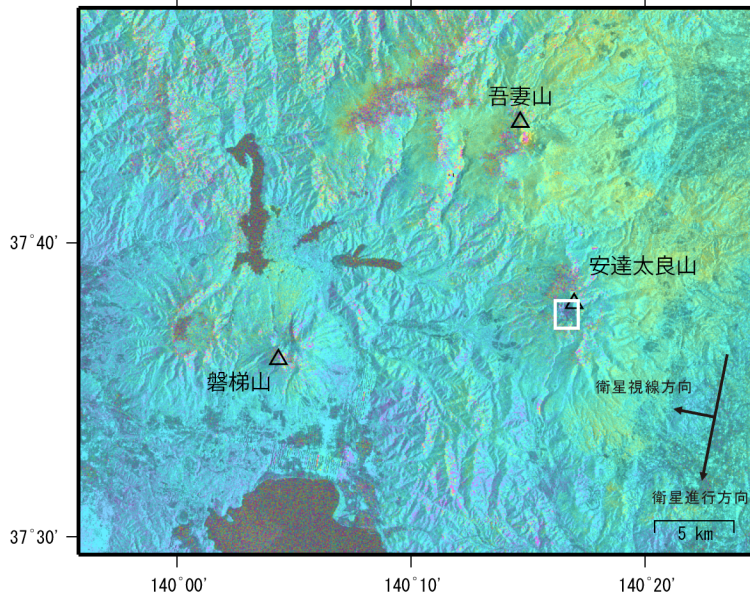
謝辞

だいち/PALSAR データの所有権は、経済産業省および宇宙航空研究開発機構にあります。またデータは、国土地理院と宇宙航空研究開発機構との共同研究協定に基づいて、提供を受けたものです。この場を借りて、御礼申し上げます。

*2009年10月21日受付

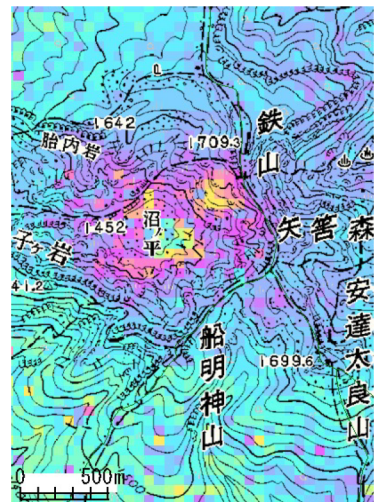
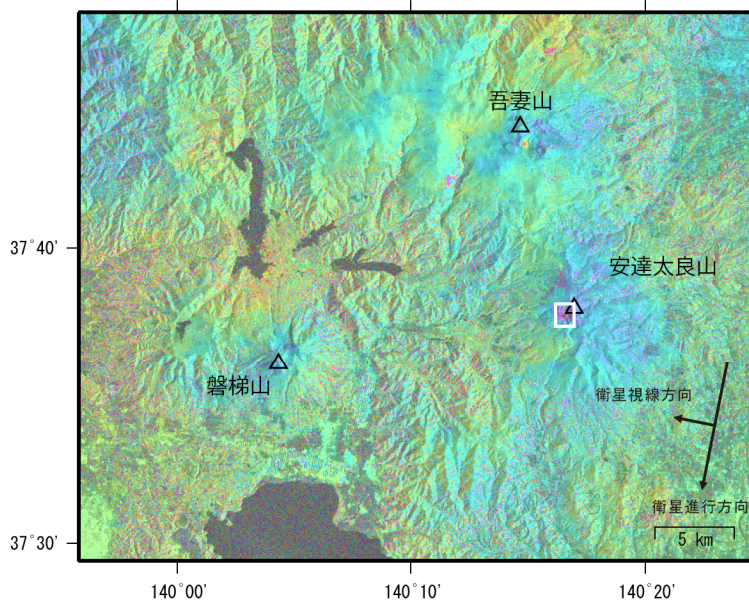
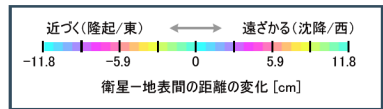
<解析データ>

衛星/センサ : だいち (ALOS)/PALSAR (波長23.6cm)
 観測モード : 南行軌道, FBS, HH/FBS, HH
 オフナディア角34.3°
 観測日 : 2006/04/27- 2007/04/30
 Bperp : +306 m



<解析データ>

衛星/センサ : だいち (ALOS)/PALSAR (波長23.6cm)
 観測モード : 南行軌道, FBS, HH/FBS, HH
 オフナディア角34.3°
 観測日 : 2006/09/12- 2008/09/17
 Bperp : +140 m



※右図は、左図の変動地域（白線内）を拡大

Analysis by GSI from ALOS raw data (c) JAXA, METI

第1図 「だいち」 PALSAR による安達太良山周辺の解析結果

Fig.1 Interferometric analysis of SAR acquired by “Daichi” PALSAR around Adataro Volcano.